

謹啓 皆様愈々ご清祥の段と存じます

去る三月十四日 母 ***は 七ヶ月にわたる闘病
生活の末 八十二年の生涯を静かに閉じました

戦前 戦中 戦後と 日本の厳しい時代を 持ち前の明
るさで生き抜き 最期には病魔と闘い もう一度の旅
行をと夢見た そんな母を誇りに思い 今は私を産み
育ててくれた事に感謝の気持ちで一杯です

勝手ながら葬儀の段は家族のみで執り行いました また

釋尼**

満中陰の法要も滞りなく相勤めました

書状略儀ながら 生前に頂きました皆様のご厚情に 故人に成り代わり 深くお礼申し上げます
晴れ渡る弥生の空の彼方へと旅立つ母の微笑みし顔



二〇〇八年四月 合掌
カッタは晩年の母の作った水仙の切り絵です